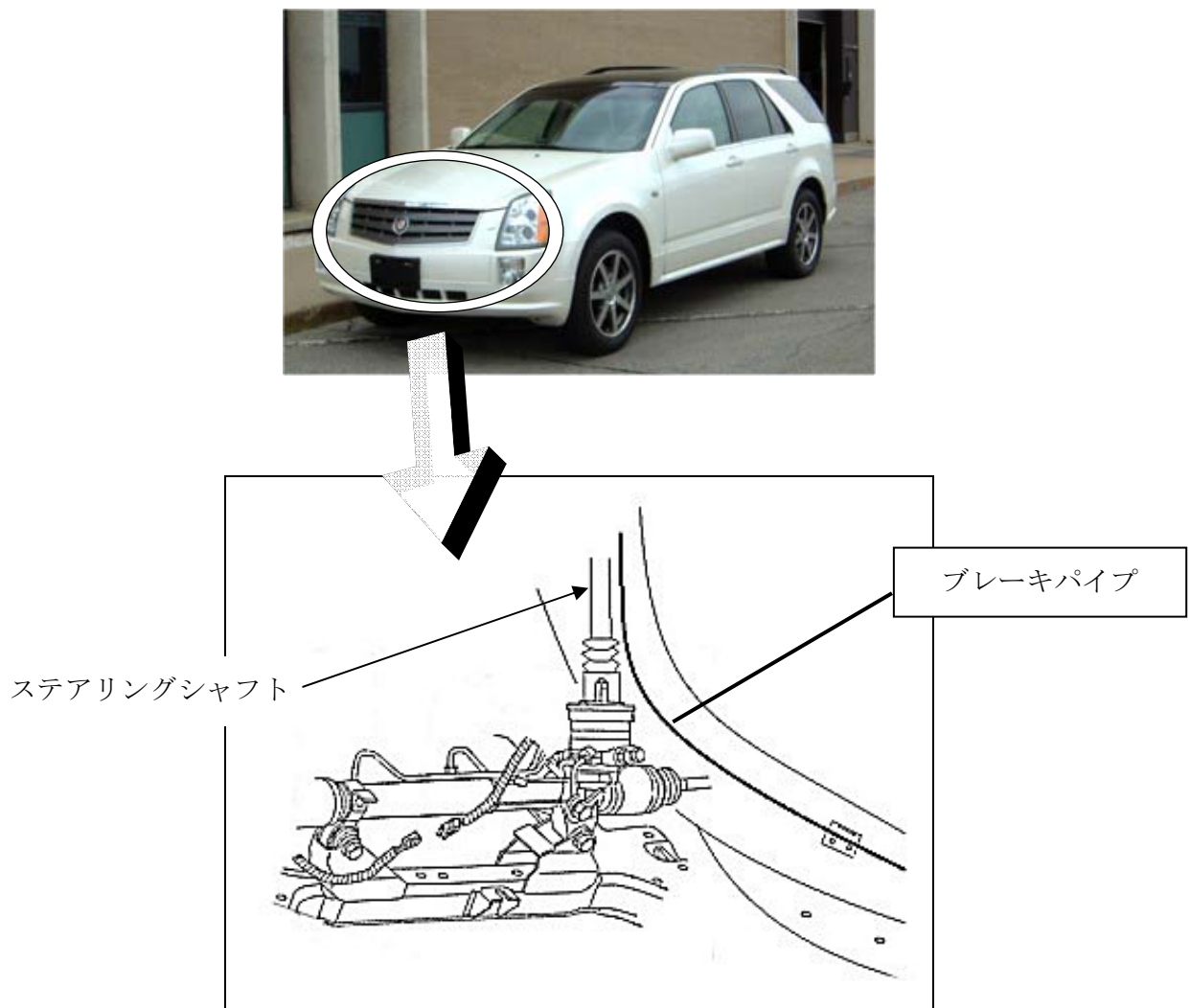


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

ブレーキパイプに取付不良のものがあつたため、当該パイプとステアリングシャフトが干渉するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ブレーキパイプに穴が空き制動液が漏れ、最悪の場合、制動不能に至るおそれがある。

＜改善内容＞

全車両、ブレーキパイプの取付状態を点検し、必要に応じて正規の状態に修正する。また、パイプに接触痕のある場合はブレーキパイプを新品と交換する。

識別方法：左ストラットタワーに黄色ペイントを塗布

☐ 内は、点検または交換部品を示す。